

知ってるようで
知らない私たちの町 ②

鎮守の森が迎えてくれる町

大正

(旧田野々)



亀ノ森という小高い丘

四 万十川に沿って窪川方面から大正(旧田野々)に来ると、最初に鎮守の森が迎えてくれる。国道は、この森を避けるように左へ

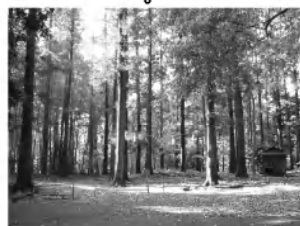
大きくカーブして十和方面へと続く。右へ入ると大正(旧田野々)の町である。

町に入っれば

らくすると、左手

に小高い丘がある。

亀ノ森というこの丘のてっぺんには、その活動が全国から注目されている環境コースを擁する四万十高校がある。



絶妙な間隔

い くつもある「けもの道」のひとつを通じて亀ノ森を登りきると、旧

田野々の町全体が見わたせる。町の真ん中を、JRの線路が町道と並行に走っている。周囲の山々のその懐に抱かれるように人家が密集して、この町を構成している。役場や農協、郵便局に2つの銀行、診療所、小さなスーパーマーケット、雑貨屋さんやお菓子屋さんなどの個人商店が、絶妙な間隔を置いて存在している。



町が生きている証

耳 を澄ますと、眼下の町からさまざま

まな音が聞こえてくる。商店街を歩き交う人々の声、中学校からはソフトボール部のかげ声や金管楽器の練習音、そして思い出したように到着する列車の音。それぞれがこの町の鼓動であり、町が生きているという確かな証である。

亀ノ森から再び

町に下りて商店街

を歩くと、「地酒

のある町」という

大きな垂れ幕があ

り、そこに「有名

な」造り酒屋がある。対応してくれた若

者は、宮崎県出身だという。「土佐の辛

口のお酒が好きでここへ来ました。今は

酒造りの修行中です。」と、生き生きと

話してくれた。なんだかとても嬉し

くて、心強く思った。



旅行者を悩ませる謎の数km

町

を抜けて国道381号線に戻ると目の前はまた四万十川。ではない。

榑原川である。国道沿いの川の流れがそれ

れまでとは逆になっている。これが旅行者

者を悩ませる。つまり、窪川方面から3

81号線を四万十川と共に下りながら十

和方面に車を走らせるのだが、旧田野々

の町に差しかけたところで突如として

川の流れが逆になるので「あれ？」とな

るのである。川を渡り田野々トンネルを

抜けると川の流れは元通り。旅行者を悩

ませる謎の数kmがここ旧田野々にある。